

地域ケア推進会議 かわら版

2021年3月／発行：燕市長寿福祉課地域支援相談係

令和2年度第2回地域ケア推進会議 書面開催しました。

報告事項：各部会報告、支え合い活動推進会議報告、分水包括の提言と回答

検討事項：～成年後見制度の周知について～

委員さん・協力員さんから書面で128のご意見やご質問をいただきました。
ありがとうございました。主なご意見・ご質問を以下の通りまとめました。



総合事業部会 Q&A

Q オンラインでの交流促進とそのための環境整備とありますが、具体的にはどのようなものをお考えでしょうか？

A 対面だけではなくオンライン参加のハイブリッド型の研修や講座を計画します。インターネットの使い方講座（Zoom 活用講座）を社会福祉協議会が開催しているなど、さまざまなアイデアで交流促進を考えていきます。

～成年後見制度の周知について～ 総合事業部会としてできること

- 地域の交流の場（ふれあいサロン、通所B等）や支え合い活動の場において、勉強会を実施する。
- 勉強会では、具体的な事例を紹介して身近に感じてもらうことや安心できる制度であることをPRする。
- 世話人や支援者、地域のリーダーへの勉強会や出前講座の開催。

在宅医療・介護連携推進部会 Q&A

Q 在宅医療・介護連携推進部会の在宅医療の4場面とは？ 4場面の課題とは？

A 在宅医療の4場面とは、医療と介護の連携した対応が求められる場面のことであり、①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取りの4場面です。高齢者が住み慣れた地域で最期まで生活できるよう、①～④の体制整備が在宅医療・介護の課題となっています。

～成年後見制度の周知について～ 在宅医療・介護連携推進部会としてできること

- 専門職が集まる場面で、成年後見制度を紹介する。そして、身寄りなし、家族親族の支援なしの人の入退院や在宅療養を検討する際、専門職が、成年後見制度の周知と活用ができるようにする。
- 事例をもとにして、成年後見制度の考え方・進め方（他部署との連携）の学習と現在の課題の検討。
- 部会を通じて医師へ制度の趣旨や書類作成の理解を促進していくことが必要だと思う。

認知症支援部会 Q&A

Q「チームオレンジの認知度が低い」とありましたが、正直自身は初めて聞いた名前だったので、改めて内容含め知りたいです。

A 認知症サポーターステップアップ研修を受講した人たちで、地域において認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組みのこと。認知症施策推進大綱では、2025年までの間にすべての市町村で整備することを目標に掲げられています。

～成年後見制度の周知について～ 認知症支援部会としてできること

- オレンジリングカフェ開催時に成年後見制度を紹介する。初級編の講座を開く。
- 認知症サポーター養成講座に成年後見制度を支援策の一つとして紹介する。
- 認知症あんしんガイド(認知症ケアパス)の更新時に成年後見制度の紹介コーナーを作る。

今回の会議で出たご意見(成年後見制度の周知について)は、令和3年度からの各部会の活動に引き継いでいきます。



地域ケア推進会議委員の任期満了に伴う委員交代について

今期(平成30～令和2年度)の委員の皆様は、3月31日で3年間の委嘱期間が終了します。様々なお立場からの貴重なご意見を頂戴し、感謝申し上げます。

目に見える成果を上げるのが難しい分野ですが、燕市の地域包括ケアシステムの構築に向けて歩みを止めず、できることに取り組んでまいります。

来年度も再任される委員さんにおかれましては、引き続きよろしく願いいたします。



今後の予定

- 次期(令和3年度～5年度)委員の皆様へ
4月 委嘱状の送付
- 各会議の日程案
地域ケア推進会議 8/25、2月
総合事業部会 6/23、10月、
在宅医療・介護連携推進部会 6/9、10/13、1/12
認知症支援部会 6/17、9/9、1月

